

企業法学専攻

<http://www.blaw.gsbs.tsukuba.ac.jp/>

特色

現代経済社会においては、企業をめぐる法律問題に関し、高度の専門能力及び、高度な視点からの問題解決能力を有する人材が益々必要になっています。本専攻では、独自の教育体制により、専門分野の拡大・深化を通じて、このような企業法学分野における高度専門職業人の養成を図ることを目標としています。

具体的には、法学を学ぶ上で基礎となる文献学や比較法といった共通専門科目に加えて、社会的ニーズと学問的特性にあわせて履修の重点領域を設定した専門コース制の下での重点的・効率的な履修を可能とすることにより、多岐にわたる企業法学分野における高度専門職業能力を効率的に涵養することを目指しています。

領域

【専門性を高めるコース選択】

学生は自らの興味関心、職業上の必要に応じて、次の5つの専門コースから希望のコースを選択できます。

- 1. 企業関係法コース
- 4. 社会・経済法コース
- 2. 国際ビジネス法コース
- 5. 税法コース
- 3. 知的財産法コース

【修士論文の作成】

問題の焦点を明確に定めて取り組みつつ、各専門分野における教員から指導・アドバイスを受けることで、高い質の研究成果を得ることができます。

教育方法

【専門コース制】

法学を学ぶ上で基礎となる文献学や比較法といった共通専門科目に加え、上記のとおり、社会的ニーズと学問的特性にあわせて履修の重点領域を設定した専門のコース制の下で、重点的・効率的な履修が可能です。

【マンツーマン体制による指導】

1年次の春までに、各学生が入学時に研究計画等で示した研究テーマにもっとも近い専門領域の指導教員を決め、各指導教員が学生の指導を個別に行います。科目の履修選択にあたっては、指導教員によるアドバイスも受けながら、各自のニーズに応じた履修計画を作成できます。

【修士論文中間報告会】

2年次の秋には、学生と教員が原則として全員出席して、研究の進捗状況についての指導と、より上質な修士論文作成に向けての意見交換を行います。

<応募状況>

○内は、外国人を内数で示す。

平成28年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
30	64	36	34
平成29年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
30	73 ②	35 ①	32 ①
平成30年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
30	69	34	30

<修了状況>

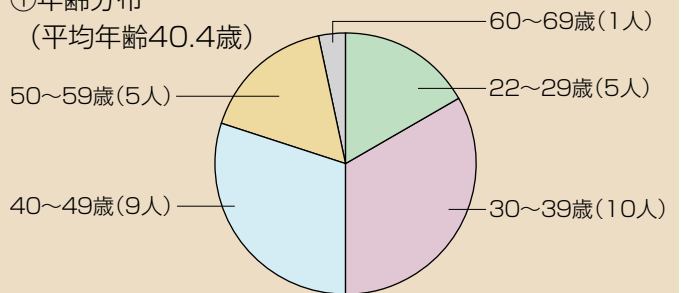
	27年度	28年度	29年度	計
修士(法学)	30	28	34	92

<入学者関係データ>

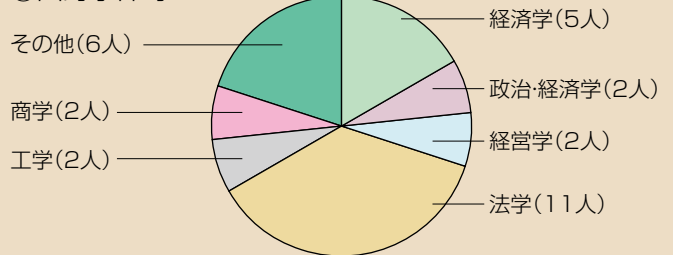
平成30年度入学者 / 30名(男性23名,女性7名)

①年齢分布

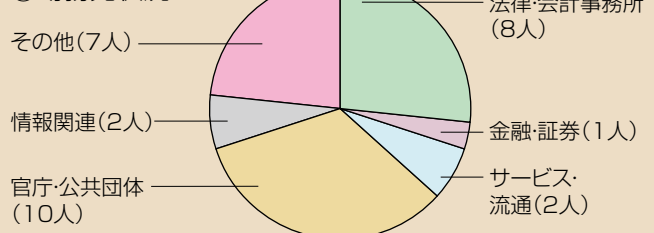
(平均年齢40.4歳)



②出身学部等



③勤務先状況



平成30年度学年暦カレンダー【東京地区】

(大学院関係:東京キャンパス)

春学期								秋学期									
曜日	日	月	火	水	木	金	土	備考	曜日	日	月	火	水	木	金	土	備考
4月	1	2	3	4	5	6	7	春季休業4.1-4.6 入学式4.7、新入生オリエンテーション4.7 春学期授業開始4.10	10月		1	2	3	4	5	6	開学記念日10.1 秋学期授業開始10.2
	8	9	10	11	12	13	14			7	8	9	10	11	12	13	
	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20	
	22	23	24	25	26	27	28			21	22	23	24	25	26	27	
	29	30								28	29	30	31				
5月			1	2	3	4	5		11月					1	2	3	11.10臨時休業(入学試験実施)(予定)
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10	
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	21	22	23	24	
	27	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30		
6月						1	2		12月							1	冬季休業12.23-1.7
	3	4	5	6	7	8	9			2	3	4	5	6	7	8	
	10	11	12	13	14	15	16			9	10	11	12	13	14	15	
	17	18	19	20	21	22	23			16	17	18	19	20	21	22	
	24	25	26	27	28	29	30			23	24	25	26	27	28	29	
7月	1	2	3	4	5	6	7	春学期授業終了7.28	1月			1	2	3	4	5	
	8	9	10	11	12	13	14			6	7	8	9	10	11	12	
	15	16	17	18	19	20	21			13	14	15	16	17	18	19	
	22	23	24	25	26	27	28			20	21	22	23	24	25	26	
	29	30	31							27	28	29	30	31			
8月				1	2	3	4	春ABCモジュール期末試験7.24, 7.25, 8.2-8.4 予備日7.31, 8.1 夏季休業8.5-9.30	2月						1	2	秋学期授業終了2.9 秋ABCモジュール期末試験 1.29-1.31, 2.8, 2.16 予備日2.5-2.7 春季休業2.17-3.31
	5	6	7	8	9	10	11			3	4	5	6	7	8	9	
	12	13	14	15	16	17	18			10	11	12	13	14	15	16	
	19	20	21	22	23	24	25			17	18	19	20	21	22	23	
	26	27	28	29	30	31				24	25	26	27	28			
9月							1		3月						1	2	大学院学位記授与式3.30
	2	3	4	5	6	7	8			3	4	5	6	7	8	9	
	9	10	11	12	13	14	15			10	11	12	13	14	15	16	
	16	17	18	19	20	21	22			17	18	19	20	21	22	23	
	23	24	25	26	27	28	29			24	25	26	27	28	29	30	
30							31										
授業 日数			(15)	(15)	(15)	(15)	(15)		授業 日数			(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	

(注)

1. 太字は、国民の祝日に関する法律による休日(振替え休日含む)を示す。(ただし、春分の日は予定である。)
2. 期末試験日は で示し、試験予備日は で示す。
3. 休業日は で示す。
4. 入学式・新入生オリエンテーション・学位記授与式は で示す。

5. 11月10日(土)は入学試験関係で全日臨時休業とする予定。

Aモジュール
 Bモジュール
 Cモジュール

2. ビジネス科学研究科 企業法学専攻

① 開設授業科目

ア 共通専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA001	法文献学	1	1.0	1・2	春季休業中	集中	119	企業法学専攻各教員	本講義では、法令・判例・文献のリサーチ方法およびリサーチに必要な基本的な知識を正確に身に付けることができるよう、各ツールを比較・評価しながら例題を混ぜて講義する。リサーチのほか、先行研究の引用作法についても解説する。	4/4, 4/5, 4/6, 4/15
01LA002	法文献学II	1	1.0	1・2						2018年度開講せず。
01LA003	英米法I	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		高橋 脩一	アメリカにおける裁判所の役割について考察する。	世話人:渡邊綱子 非常勤講師
01LA004	英米法II	1	1.0	1・2						2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA009	法と経済学	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		飯田 高	1960年代初めから経済学は法的ルールが人々の行動にもたらす影響を理解するための重要な分析ツールとなってきた。本講義では、私法の基礎的な分野(物権法、不法行為法、契約法)について初歩的な経済分析を行う。本講義を受講するにあたって経済学の予備知識は必要としない。	世話人:木村真生子 非常勤講師
01LA011	企業法学特別研究I	4	1.0	1	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、各人の関心に合わせた研究計画の立て方や、重点的な履修の内容・方法に対してアドバイス・指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は1年次の春A期間。
01LA012	企業法学特別研究II	4	1.0	1	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、研究企画の具体化や、そのための作業の進め方などについて指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は1年次の春A期間。
01LA013	企業法学特別研究III	4	1.0	1	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、修士論文の骨子の作成や、論文作成に向けての文献の調査・消化方法などについて、計画の進捗度合いに応じて指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は1年次の春A期間。
01LA014	企業法学特別研究IV	4	1.0	2	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、各人の研究計画に合わせた修士論文の草稿の作成や、中間報告会に向けた準備のための指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は2年次の春A期間。
01LA015	企業法学特別研究V	4	1.0	2	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、修士論文の草稿の完成および最終原稿の作成に向けての指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は2年次の春A期間。
01LA016	企業法学特別研究VI	4	1.0	2	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、修士論文の最終原稿の完成に向けて、表現や文献表記など最終段階としての指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は2年次の春A期間。
01LA101	現代民法の基礎	1	1.0	1	春C	土5,6	119	小林 和子	民法全体を鳥瞰するが、特に民法総則を中心に現代民法の基礎を習得することを目的とし、必要に応じて物権法・債権法にも言及する。	
01LA102	親族法・相続法	1	1.0	1・2						2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA103	現代商法の基礎	1	1.0	1・2	春B	金7,8	119	木村 真生子	商法総則・会社法総則及び商取引法の重要な論点を取り上げ、商法の基礎的な概念を学ぶ。	
01LA104	損害賠償法	1	1.0	1・2					不法行為法を中心として損害賠償法を概観する。	西暦奇数年開講。
01LA111	企業法学特殊講義I	1	1.0	1・2					法令遵守をめぐる諸問題について企業の実務家が講義し、受講者と議論する。	2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA112	企業法学特殊講義II	1	1.0	1・2					法令遵守をめぐる諸問題について企業の実務家が講義し、受講者と議論する。	2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA113	企業法学特殊講義III	1	1.0	1・2					法令遵守をめぐる諸問題について企業の実務家が講義し、受講者と議論する。	2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA114	企業法学特殊講義IV	1	1.0	1・2					法令遵守をめぐる諸問題について企業の実務家が講義し、受講者と議論する。	2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA115	企業法学特殊講義V	1	1.0	1・2					法令遵守をめぐる諸問題について企業の実務家が講義し、受講者と議論する。	2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA116	企業法学特殊講義VI	1	1.0	1・2					法令遵守をめぐる諸問題について企業の実務家が講義し、受講者と議論する。	2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA121	企業法学実務講義I	1	1.0	1・2					企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA122	企業法学実務講義II	1	1.0	1・2					企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA123	企業法学実務講義III	1	1.0	1・2					企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA124	企業法学実務講義IV	1	1.0	1・2					企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA125	企業法学実務講義V	1	1.0	1・2					企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA126	企業法学実務講義VI	1	1.0	1・2					企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	2018年度開講せず。 非常勤講師

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA132	社会保障法演習	2	1.0	1・2	春学期	土3,4	435	渡邊 絹子	社会保障法の主要なテーマについて判例研究等を行う。	4/14, 5/26, 6/23, 7/28, 9/29
01LA135	租税法演習	2	1.0	2	春C	水8 土6	320	大野 雅人	租税法の重要論点に関する裁判例及び文献を担当者が報告した後、全員で当該報告についてのディスカッションを行う。	
01LA136	金融商品取引法演習	2	1.0	1・2					金融商品取引法の分野における最近のトピックについて、判例研究や文献講読などの方法により演習を行う。	西暦奇数年度開講。
01LA137	経済法演習	2	1.0	1・2	秋BC	火8	436	山田 務	経済法の分野における主要な審判決について、担当者による報告に基づいて参加者全員により議論する。	
01LA138	担保法演習	2	1.0	1・2	秋B	土4,5	434	岡本 裕樹	担保法の分野における最近のトピックについて、ケーススタディや文献講読などの方法により演習を行う。	
01LA139	知的財産法判例演習	2	1.0	1・2	春学期	応談		平嶋 竜太	知的財産法(主として特許法、著作権法等)の分野における最近のトピックについて、ケーススタディや文献講読などの方法により演習を行う。	
01LA140	国際私法演習	2	1.0	1・2	秋C	木7,8	435	藤澤 尚江	国際企業法(主として国際私法・国際金融法等)の分野における最近のトピックについて、ケーススタディや文献講読などの方法により演習を行う。	
01LA141	労働法演習I	2	1.0	1・2					労働法に関する実務上重要な問題・課題について、事例を用いた討論を行う。	西暦奇数年度開講。
01LA142	労働法演習II	2	1.0	1・2	秋AB	水8	117	川田 琢之	労働法に関する実務上重要な問題・課題について、事例を用いた討論を行う。	西暦偶数年度開講。
01LA143	知的財産法演習	2	1.0	1・2	秋AB	土3	436	潮海 久雄	知的財産法の重要なテーマについて演習を行う。	受講者は特に制限しないが、裁判例・文献を読んでおくこと。
01LA146	契約法・損害賠償法演習	2	1.0	1・2	春C	土3,4	436	小林 和子	判例研究を行う。契約法・損害賠償法に関する判決について、報告担当者による報告と参加者全員による議論という形式で演習をすすめる。	
01LA149	アメリカ取引法文献講読	2	1.0	2	通年	応談		木村 真生子	米国の(電子)商取引に関する裁判例・英語論文を読み、ディスカッションする。	履修登録前に参加者に対して面談を行う。
01LA150	会社法特殊講義I	2	1.0	1・2	夏季(予定)			弥永 真生	現在、進められている会社法改正に向けた議論に対して、批判的に検討を加える。科目の特性上、法制審議会の動きにより、開講時期を決定する。本科目は、基本的には参加者が報告を分担する演習科目である。	本年度のみ開講。
01LA151	民事手続法演習I	2	1.0	1・2					民事手続法分野における重要な問題について、判例研究ないし外国文献講読などの方法により演習を行う。年度によって取り上げる法分野が異なることがある。	西暦奇数年度開講。
01LA152	民事手続法演習II	2	1.0	1・2	春C	木7,8	436	大淵 真喜子	民事手続法分野における重要な問題について、判例研究ないし外国文献講読などの方法により演習を行う。年度によって取り上げる法分野が異なることがある。	西暦偶数年度開講。
01LA153	金融法実務(イスラム金融)	1	1.0	1・2					中東・北アフリカ地域の金融法、商事代理店法、およびイスラム法(イスラム金融を含む)について解説する。	2018年度開講せず。
01LA154	個人情報保護法	1	1.0	1・2	未定	未定			個人情報保護法につき、事業者が負担する義務の内容を法令およびガイドライン等に即して検討するとともに、個人情報保護委員会による監督を中心とするエンフォースメントについても概観する。	非常勤講師
01LA155	租税計画演習	2	1.0	2	春AB	土2	431	本田 光宏	租税計画を学ぶ上で最近の重要判例、文献等について、演習形式で学習する。	
01LA156	会社法演習	2	1.0	1・2	秋C	金7,8	117	木村 真生子	会社法分野におけるトピックについて、判例研究や文献講読などの方法により演習を行う。	西暦偶数年度開講。
01LA157	憲法	1	1.0	1・2						2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA158	行政法	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中	119	南川 和宣	行政法の基礎を説明する。	世話人:大野雅人 非常勤講師

(注1) 企業法学専攻各教員：大野、大淵、岡本、川田、木村、小林、潮海、平嶋、藤澤、本田、弥永、山田、渡邊

(注2) 指導教員から指示された該当者(9月修了者)は01LA028～01LA033 企業法学特別研究I～VIを履修申請すること。

イ 専門科目【企業関係法コース】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
01LA201	契約法I		1	1.0	1	春A	木7,8	117	小林 和子	契約法総論(契約の意義, 契約の成立, 契約の効力, 契約の終了, 契約の変更)について, 売買を具体例にしながら, 条文・判例を中心とした講義を行う。	
01LA202	契約法II		1	1.0	1	春B	木7,8	117	小林 和子	契約法各論(贈与、交換、消費貸借、使用貸借、賃貸借、雇用、請負、委任、寄託、組合、終身定期金、和解)に関する条文・判例を扱う。	
01LA203	消費者取引と法		1	1.0	1・2	秋C	土3,4	119	小林 和子	消費者・事業者間取引に対する特別民事ルールや業法的規制について, 最新の判決や相談例を素材とした講義を行う。	西暦偶数年度開講。 2/2は320講義室。
01LA204	不動産法		1	2.0	1・2	秋AB	火7,8	119	岡本 裕樹	企業にとって重要な, 不動産物権の種類と内容・登記制度・不動産の賃貸借・地上権取引・土地や住宅の共同所有における法律関係や管理制度などについて検討する。	
01LA205	担保法I		1	2.0	1・2	春AB	火7,8	117	岡本 裕樹	本講義では不動産担保を扱う。まず, 担保物権の女王ともいえる抵当権に関する諸問題について判例を中心に検討を加える。次に, これとの比較という観点から, 仮登記担保, 譲渡担保という非典型担保について検討し, 法定担保物権にも言及したい。	西暦偶数年度開講。
01LA206	担保法II		1	1.0	1・2	春C	水7,8	117	岡本 裕樹	企業取引では, 不動産担保のほかにもこれを補完する担保が必要となる場合もある。そこで本講義では, 不動産担保以外の担保, すなわち, 動産担保(動産譲渡担保, 動産先取特権など)や, 権利担保(債権質, 債権譲渡担保など)を扱うことにする。	西暦偶数年度開講。
01LA207	債権保全・回収法		1	2.0	1・2					債権保全・回収の法的問題としては, 実体法上の権利内容の問題と権利行使の際の手続上の問題があるが, 本講義では前者に重点を置きながら, 後者については実務上特に重要な問題に絞って検討を加えたい。	西暦奇数年度開講。
01LA208	信託法		1	1.0	1・2	春季休業中	集中		新井 誠	信託法の基礎理論について検討する。新しい信託法の活用例、近時の信託判例についても言及する。	世話人: 木村真生子 非常勤講師
01LA209	M&A法		1	1.0	1・2	秋C	水7,8	117	星 明男	M&A(企業買収・組織再編)は, 企業の事業戦略上、最も重要な選択肢の1つであるが, 株主・経営者・従業員などの利害関係者にもたらす影響が大きいため, しばしば社会的な注目を集める。M&Aの具体的なストラクチャーやプロセスは, 多くの面で法による規律を受ける。本講義では, それらのうち, 会社法・証券法・契約法に関する問題を主に扱う。なお, 本講義では, 法令や裁判例の紛争解決規範としての妥当性を論じることよりも, 一定の法的制約の下で最適なM&A取引のストラクチャーを設計できる能力を涵養することに重点を置く。	世話人: 木村真生子 西暦偶数年度開講。 非常勤講師
01LA210	会社法		1	2.0	1・2	秋AB	金7,8	119	木村 真生子	会社法の全体像を概観する。制度の趣旨・目的を理解することを主眼とするが, 重要な論点については判例や学説を取り上げて検討を行う。	
01LA211	コーポレートガバナンス		1	1.0	1・2	春A	木7,8	119	弥永 真生	上場会社等の公開会社を中心とした株式会社についての法制度に関して, 近年において生じてきている重要な問題点を取り上げ検討を加える。判例や学説の考察に加えて, 比較法的な面からの研究も検討したい。	西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
01LA214	中小会社法		1	1.0	1・2	秋A	火7,8	320	弥永 真生	公開会社ではない株式会社及び持分会社をめぐる会社法上の問題を概観する。定款自治の限界についてもふれることとする。	
01LA215	企業会計法		1	1.0	1・2	秋A	木7,8	119	弥永 真生	企業会計に関する会社法・金融商品取引法における法規制を概観する。連結財務諸表, デリバティブ取引なども対象とする。	
01LA217	金融商品取引法		1	1.0	1・2	春C	金7,8	117	木村 真生子	資本市場に関わる様々な制度や, 関係者の行為を規律している金融商品取引法の基本的な概念を学ぶ。重要な論点については, 関係判例や学説を取り上げて検討を行う。	
01LA218	金融法		1	1.0	1・2	未定	未定		浅田 隆	預金, 貸付, 為替の銀行の3大業務を中心に銀行取引の法的側面につき約款に即して検討するとともに, 関係判例についての研究を行うことにより, 生きた民・商法, 手形法・小切手法等を学習する。	世話人: 弥永真生 西暦偶数年度開講。 非常勤講師
01LA219	保険法		1	1.0	1・2					企業危険の分散のために保険は欠かせないツールである。損害保険法及び生命保険法の基本概念を理解し, 企業経営のための保険利用において, 不可欠な法知識を習得する。	西暦奇数年度開講。 非常勤講師
01LA223	民事訴訟法		1	2.0	1・2	春AB	土4,5	119	大淵 真喜子	民事訴訟法の基礎理論・手続内容について概説するとともに, 重要な理論的問題に関する判例・学説についても解説する。第一審の審理手続を中心とする。	5/5授業実施, 5/19休講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
01LA224	上級民事訴訟法		1	1.0	1・2	秋A	金7,8	117	大淵 真喜子	上訴審での手続および再審手続を中心として、民事訴訟法における主要な理論的問題について判例・学説を解説し、より掘り下げた検討を行う。	西暦偶数年度開講。
01LA225	民事執行法・民事保全法		1	1.0	1・2	秋B	金7,8	117	大淵 真喜子	民事執行法及び民事保全法について、各手続の概要を講義するほか、重要な理論的問題についても解説する。	西暦偶数年度開講。
01LA226	倒産処理法		1	2.0	1・2					破産法及び民事再生法について、基礎理論について概説するとともに重要問題の検討を行う。	西暦奇数年度開講。
01LA227	商事法研究I		1	1.0	1・2	通年	日	320	弥永 真生, 木村 真生子	主として、最近の商事判例について、参加者が報告し、参加者が討論を行うが、企業法学演習に比べて高度なものを予定しており、時間を十分にとるため、原則として、日曜日または休日に研究会を開催する予定である。したがって、準備には相当の時間を要する。企業科学専攻の学生も歓迎する。会社法その他商事法に関する基礎知識を有していることを前提として、進める。	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて10:00-12:00。開講日は専攻HPに掲載。
01LA228	商事法研究II		1	1.0	1・2					開講時間はすべて10:00-12:00 西暦奇数年度開講。	
01LA231	コーポレート・ファイナンス		1	1.0	1・2				コーポレート・ファイナンスをめぐる法律問題を取り上げる。	西暦奇数年度開講。	
01LA232	支払決済法		1	1.0	1・2				手形・小切手、クレジット・カード、電子マネー、デビット・カードなどに関する法律問題を取り上げる。	西暦奇数年度開講。	
01LA245	民事法研究I		2	1.0	1・2	通年	日	431	岡本 裕樹, 小林 和子	民事法上の重要な問題について、判例研究を中心に、参加者の報告をもとに討論を行う。民事法に関する基礎知識を有していることを前提として、共通専門科目の演習科目よりも高度な検討を行うものとする。企業科学専攻学生の参加も歓迎する。	西暦偶数年度開講。 開講時間は13:30-17:00予定。開講日は専攻HPに掲載。
01LA246	民事法研究II		2	1.0	1・2					西暦奇数年度開講。	

イ 専門科目【国際ビジネス法コース】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
01LA301	国際私法		1	2.0	1・2	春AB	木7,8	320	藤澤 尚江	国際私法は、国際的な法律関係において生じる異なる法律の抵触という問題に解決を与えようとするものである。この講義では、国際私法の制度と、特に取引法におけるその実現について概説する。	
01LA302	国際取引法		1	2.0	1・2	春AB	水7,8	117	大塚 章男	企業活動のグローバル化を背景として、国際取引の諸相とダイナミズムを法的側面から探りつつ、現代の国際取引法の基礎理論を学び、その応用としての現実の国際取引の多様な形態を検討する。	
01LA303	国際経済法		1	1.0	1・2	秋A	水7,8	320	大塚 章男	戦後の国際貿易体制の軸となったGATTとそれを承継したWTOの法と制度を中心に講義する。GATT/WTOの紛争処理手続の下で扱われた事例を検討していく。	西暦偶数年度開講。
01LA304	国際金融法		1	1.0	1・2	秋B	木7,8	320	藤澤 尚江	本講義では、具体例を参照しながら、現在実質的に国境なく行われている金融取引に各国の法律を適用することの難しさや妥当性を考える。	
01LA306	外国競争法		1	1.0	1・2	秋AB	土5	117	山田 務	アメリカ反トラスト法、EU競争法等について、その規制の基本原則を理解し、具体的な判例やガイドラインを参照しながら、現代におけるその運用の在り方を学ぶ。	
01LA307	ヨーロッパ契約法		1	1.0	1・2				契約法に関するヨーロッパにおける国際的統一の動きやヨーロッパ各国の動向について検討する。	西暦奇数年度開講。	
01LA308	国際民事訴訟法		1	1.0	1・2	春C	木7,8	117	藤澤 尚江	国際取引に関する訴訟法上の問題、特に国際裁判官轄、外国判決の承認等について学ぶ。	

イ 専門科目【知的財産法コース】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
01LA401	著作権法I		1	2.0	1・2				情報化時代において著作権法の知識が必要となっている。知的財産法(特許法、著作権法、商標法、不正競争防止法ほか)のうち創作法の分野に属する著作権法の基本的な考え方を身につけることを目的とする。	著作権法が収録されている六法を持参すること。受講対象者は、特に知的財産法を研究分野とする者に限らず、広く他の法分野専攻者も対象とする。 西暦奇数年度開講。	
01LA402	著作権法II		1	2.0	1・2	春学期	応談	平嶋 竜太	著作権法の全体についての基本的な理解と知識を獲得することを目的とした解説中心の講義を行う。至近の裁判例や学説についても適宜紹介・検討する。	西暦偶数年度開講。	
01LA403	特許法I		1	2.0	1・2				特許法についての基本的な枠組について概説すると共に、近時の判例や学説における議論についても、適宜紹介・解説する。(実用新案法についても併せて取り扱う。)	西暦奇数年度開講。	
01LA404	特許法II		1	2.0	1・2	春BC	土2,3	117	潮海 久雄	情報化時代において特許法の知識が必要となっている。知的財産法(特許法、著作権法、商標法、不正競争防止法ほか)のうち創作法の分野に属する特許法の基本的な考え方を身につけることを目的とする。	特許法が収録されている六法を持参すること。受講対象者は、特に知的財産法を研究分野とする者に限らず、広く他の法分野専攻者も対象とする。 西暦偶数年度開講。 7/7, 7/14は116講義室。
01LA405	不正競争防止法		1	1.0	1・2	春A	金7,8	320	平嶋 竜太	市場における競争秩序に関する規制法として近年益々重要性を増しつつある不正競争防止法は、標榜の法的保護体系とそれ以外の法的保護体系(商品形態、営業秘密、その他)に大別される。ここでは、その全体構造について概観し、重要事項についての基本的な理解を得ることを目的とする。	
01LA406	商標法		1	1.0	1・2	春BC	火7	320	潮海 久雄	情報化時代において商標法の知識が必要となっている。知的財産法(特許法、著作権法、商標法、不正競争防止法ほか)のうち商標法の分野に属する商標法の基本的な考え方を身につけることを目的とする。	商標法が収録されている六法を持参すること。受講対象者は、特に知的財産法を研究分野とする者に限らず、広く他の法分野専攻者も対象とする。
01LA407	デザイン法		1	1.0	1・2	秋学期	応談	平嶋 竜太	日本におけるデザイン保護法制の主な柱である、意匠法及び不正競争防止法(商品形態の保護)を中心として解説・検討を行う。		
01LA408	知的財産侵害訴訟法		1	1.0	1・2				特許権、著作権はもとより知的財産権侵害訴訟に関わる諸問題につき、幅広く対象として判例や立法の動向も踏まえて概観する。また、理論論のみならず、実務的な問題認識にも配慮する。	2018年度開講せず。	
01LA409	知的財産法特殊講義		1	1.0	1・2				知的財産法を巡る幅広いテーマを中心に取り上げて検討する。また、必ずしも知的財産法に限ることなく、関連する各分野の第一線で活躍する実務家や研究者を講師として招聘する場合も含まれる。	2018年度開講せず。	
01LA410	国際知的財産法		1	1.0	1・2	秋AB	土2	320	潮海 久雄	情報化時代において知的財産法の国際的側面について知識が必要となっている。知的財産法の条約、協定および、国際私法の側面(管轄、準拠法等)を含めて国際的に生じている問題について討論し、その基本的な考え方を身につけることを目的とする。	受講対象者は、特に知的財産法を研究分野とする者に限らず、広く他の法分野専攻者も対象とする。
01LA411	エンタテインメント法		1	1.0	1・2	未定	未定		この授業では、小説、映画、音楽、ゲーム、ソーシャルメディア、スポーツといったエンタテインメント・ビジネスにおける法と契約について扱う。	非常勤講師	

イ 専門科目【社会・経済法コース】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
01LA507	労働判例研究I		1	1.0	1・2	通年	土	116	川田 琢之, 渡邊 絹子	労働・社会保障事件における判例の事実、判旨の大意の把握及び当該判例の先例との関係、学説上の理論的位置づけ等を討論形式で検討する。	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。
01LA508	労働判例研究II		1	1.0	1・2				労働判例研究Iに引き続いて、判例の読み方や理論的位置づけなどを討論形式で学び、判例評釈の方法についても検討する。	西暦奇数年度開講。	
01LA509	独占禁止法I		1	2.0	1・2	春AB	土6,7	117	山田 務	独占禁止法は、市場経済における競争秩序を維持する法制として重要な地位を占めている。審決・判例等を参照しながら、また、公取委のガイドラインにもふれながら、主要な違反行為の要件についての解釈等を学ぶ。	4/21, 5/19は116講義室。
01LA510	独占禁止法II		1	1.0	1・2	春C	火7,8	117	山田 務	独占禁止法の公的施行・私的施行の内容、知的財産権・政府規制・国際取引と競争法との関係について学ぶ。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA511	環境法		1	1.0	1・2					2018年度開講せず。 非常勤講師
01LA512	労働関係法		1	3.0	1・2	春ABC	火7,8	119	川田 琢之	労働契約法、労働基準法、労働組合法等によって構成される労働法の基本的な内容について講義する。
01LA513	社会保障法		1	3.0	1・2	秋ABC	木7,8	117	渡邊 絹子	年金、医療、介護等の社会保障各制度の基本的な仕組み・内容及び法理論上の諸問題について学ぶ。
01LA514	企業の組織・活動と労働法		1	1.0	1・2	秋AB	水7	117	川田 琢之	企業(主として会社)の組織運営に関する労働法上の問題及び、労働法に関して企業活動上の法令遵守が問われる代表的な問題のなかからいくつかを取り上げて講義する。
01LA515	社会保障法の現代的課題		1	1.0	1・2	春B	金7,8	117	渡邊 絹子	社会保障に関する現代的課題について検討する。
01LA516	経済刑法		1	1.0	1・2	秋学期				世話人:山田務 非常勤講師

イ 専門科目【税法コース】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
01LA221	実務租税法		1	3.0	1・2	通年	水7	119	本田 光宏	実務上の観点から、企業にとって重要な租税法の解釈・適用を体系的に論じる。租税法総論、所得税法及び法人税法の解釈上重要な論点、近年の重要判決等の実務的な論点を中心に講義する。	
01LA233	租税法研究Ⅰ		1	1.0	1・2	通年	土	432	大野 雅人, 本田 光宏	租税法上の重要な問題について、参加者の報告を基に討論を行う。企業関連税法全般(国際課税を含む)についての基礎知識を有していることを前提として、高度な内容を取り扱う。	西暦偶数年開講。 開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。
01LA234	租税法研究Ⅱ		1	1.0	1・2					西暦奇数年開講。	
01LA236	租税手続法		1	1.0	1・2	春AB	土6	119	本田 光宏	納税義務の成立・税額の確定、是正手続、附帯税の賦課要件等、更正決定等の期間制限等の重要論点について、最近の裁判例を踏まえて論じる。	
01LA237	租税争訟法		1	1.0	1・2	秋AB	土6	119	大野 雅人	違法な課税処分に対する行政上の救済手続(不服申立て)と司法上の救済手続(取消訴訟等)に係る重要論点について論じる。	
01LA238	租税計画Ⅰ		1	1.0	1・2					2018年度開講せず。	
01LA239	租税計画Ⅱ		1	1.0	1・2	秋AB	水8	119	大野 雅人	租税計画の観点から、実務上重要な論点について、法人の課税に係る事項を中心に論じる。	
01LA240	相続税法		1	1.0	1・2	春AB	土5	320	北村 厚	相続税法の基礎知識を習得するとともに、重要判例や最新の判例動向、相続税法を巡る最近の問題及び財産評価における実務上の重要課題等を把握する。	世話人:大野雅人 非常勤講師
01LA241	消費税法		1	1.0	1・2	春AB	土4	320	三宅 啓介	わが国の消費税法の基本構造について概観した後、裁判例等を題材とした事例の検討を通じて主要な論点、今日的な課題について学習する。	世話人:大野雅人 非常勤講師
01LA242	アメリカ税法		1	1.0	1・2	秋学期	未定		小森 健次	米国法人税を中心に米国税制の基礎知識の習得を目的として、税制の基本概念について講義を行うとともに、必要に応じて、実際に米国税務を担当するようときに実務的に検討すべき事項についても学習する。	世話人:大野雅人 非常勤講師
01LA243	中国税法		1	1.0	1・2					2018年度開講せず。 非常勤講師	
01LA244	実務租税争訟法		1	1.0	1・2					2018年度開講せず。 非常勤講師	
01LA309	国際課税法Ⅰ		1	1.0	1・2	春AB	水8	119	大野 雅人	社会経済の国際化の中で重要性の高まっている国際税務に関し、我が国の国際課税制度(我が国の国内法)について論じる。	
01LA310	国際課税法Ⅱ		1	1.0	1・2	秋AB	土2	119	本田 光宏	国際租税制度の法源の1つである租税条約に関して、趣旨・目的、基本原則、個々の条文の解釈・適用上の論点を中心に学習する。	

ウ 特定関連科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA603	フランス法		1	1.0	1-3					2018年度開講せず。 非常勤講師
02FA604	ドイツ法		1	1.0	1-3					2018年度開講せず。 非常勤講師
02FA605	アジア法		1	1.0	1-3					2018年度開講せず。 非常勤講師

企業法学専攻・企業科学専攻企業法コース(平成30年度)時間割

	月	火	水	木	金	土				
2時限 (10:20~ 11:35)	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">春A</div>						01LA155 租税計算演習 本田 光宏 431	2時限 (10:20~ 11:35)		
						開講日	休業日			
3時限 (11:45~ 13:00)	曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	3時限 (11:45~ 13:00)	
4時限 (13:45~ 15:00)	4月	1	2	3	4	5	6	7	01LA223 民事訴訟法 大淵 真喜子 119	4時限 (13:45~ 15:00)
		8	9	10	11	12	13	14		
		15	16	17	18	19	20	21		
		22	23	24	25	26	27	28		
5時限 (15:10~ 16:25)	5月	29	30						01LA241 消費税法 三宅 晋介 320	5時限 (15:10~ 16:25)
		6	7	8	9	10	11	12		
		13	14	15	16	17	18	19		
		20	21	22	23	24	25	26		
6時限 (16:35~ 17:50)		27	28	29	30	31			01LA223 民事訴訟法 大淵 真喜子 119	6時限 (16:35~ 17:50)
7時限 (18:20~ 19:35)	月	02FA527 企業法特許研究II 大杉 謙一 557	01LA512 労働関係法 川田 琢之 119	01LA221 実務租税法 本田 光宏 119	01LA211 コーポレートガバナンス 弥永 真生 119	01LA405 不正競争防止法 平嶋 竜太 320	01LA509 独占禁止法I 山田 善 117	7時限 (18:20~ 19:35)		
			01LA205 担保法I 岡本 裕樹 117	01LA302 国際取引法 大塚 章男 117	01LA201 契約法I 小林 和子 117		02FA625 国際租税計画III 大野 雅人 438			
					01LA301 国際私法 藤澤 尚江 320					
8時限 (19:45~ 21:00)	月	02FA527 企業法特許研究II 大杉 謙一 557	01LA512 労働関係法 川田 琢之 119	01LA309 国際租税法I 大野 雅人 119	01LA211 コーポレートガバナンス 弥永 真生 119	01LA405 不正競争防止法 平嶋 竜太 320		8時限 (19:45~ 21:00)		
			01LA205 担保法I 岡本 裕樹 117	01LA302 国際取引法 大塚 章男 117	01LA201 契約法I 小林 和子 117					
					01LA301 国際私法 藤澤 尚江 320					

集中

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
01LA001	法文読解	春季休業中	集中	企業法学専攻各教員	4/4,4/5,4/8,4/15	春Aの申請期間
01LA132	社会保障法演習	春学期	土3,4	渡邊 絹子	4/14,5/28,8/23,7/28,9/29	春Aの申請期間

応談

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
01LA139	知的財産法判例演習	春学期	応談	平嶋 竜太		春Aの申請期間
01LA149	アメリカ取引法文献講読	通年	応談	木村 真生子	履修登録前に参加者に対して面談を行う。	春Aの申請期間
01LA402	著作権法II	春学期	応談	平嶋 竜太	西暦偶数年度開講。	春Aの申請期間
02FA812	比較労働法の基礎II	通年	応談	川田 琢之	西暦偶数年度開講。 「比較労働法の基礎」と同様のねらいを持った科目であり、両科目を隔年で開講する。開講文献は両科目で異なるものとし、どちらを先に受講してもよい。	春Aの申請期間
01LA227	商事法研究I	通年	日	弥永 真生, 木村 真生子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて10:00-12:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA233	租税法研究I	通年	土	大野 雅人, 本田 光宏	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて14:00-18:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA245	民事法研究I	通年	日	岡本 裕樹, 小林 和子	西暦偶数年度開講。 開講時間は19:30-17:00予定。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA507	労働判例研究I	通年	土	川田 琢之, 渡邊 絹子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間

企業法学専攻・企業科学専攻企業法コース(平成30年度)時間割

	月	火	水	木	金	土	
2時限 (10:20~ 11:35)	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">春B</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 開講日 休業日 </div>					01LA404 特許法II 潮海 久雄 117	2時限 (10:20~ 11:35)
3時限 (11:45~ 13:00)						01LA404 特許法II 潮海 久雄 117	3時限 (11:45~ 13:00)
4時限 (13:45~ 15:00)	01LA223 民事訴訟法 大淵 真喜子 119	4時限 (13:45~ 15:00)					
5時限 (15:10~ 16:25)	01LA241 消費税法 三宅 晋介 320	5時限 (15:10~ 16:25)					
6時限 (16:35~ 17:50)	02FA719 現代民事訴訟法 岡本 裕樹 438	6時限 (16:35~ 17:50)					
7時限 (18:20~ 19:35)	01LA236 租税手続法 本田 光宏 119	7時限 (18:20~ 19:35)					
8時限 (19:45~ 21:00)	01LA509 独占禁止法I 山田 善 117	8時限 (19:45~ 21:00)					
	02FA619 米國民事訴訟法 大淵 真喜子 320						
	01LA512 労働関係法 川田 琢之 118	01LA221 実務租税法 本田 光宏 119	01LA202 契約法II 小林 和子 117	01LA103 現代商法の基礎 木村 真生子 119	01LA509 独占禁止法I 山田 善 117	7時限 (18:20~ 19:35)	
	01LA205 担保法I 岡本 裕樹 117	01LA302 国際取引法 大塚 章男 117	01LA301 国際私法 齋藤 尚江 320	01LA515 社会保障法の現代的課題 渡邊 絹子 117	02FA625 国際租税計画法II 大野 雅人 438		
	01LA406 商標法 潮海 久雄 320	02FA706 比較金融法 弥永 真生 320					
	01LA512 労働関係法 川田 琢之 118	01LA309 国際課税法I 大野 雅人 119	01LA202 契約法II 小林 和子 117	01LA103 現代商法の基礎 木村 真生子 119		8時限 (19:45~ 21:00)	
	01LA205 担保法I 岡本 裕樹 117	01LA302 国際取引法 大塚 章男 117	01LA301 国際私法 齋藤 尚江 320	01LA515 社会保障法の現代的課題 渡邊 絹子 117			
		02FA706 比較金融法 弥永 真生 320					

応談

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
01LA139	知的財産法判例演習	春学期	応談	平嶋 竜太		春Aの申請期間
01LA149	アメリカ取引法文献講読	通年	応談	木村 真生子	履修登録前に参加者に対して面談を行う。	春Aの申請期間
01LA402	著作権法II	春学期	応談	平嶋 竜太	西暦偶数年度開講。	春Aの申請期間
02FA912	比較労働法の基礎II	通年	応談	川田 琢之	西暦偶数年度開講。 「比較労働法の基礎」と同様のねらいを持った科目であり、両科目を隔年で開講する。講読文献は両科目で異なるものとし、どちらを先に受講してもよい。	春Aの申請期間
01LA227	商事法研究I	通年	日	弥永 真生, 木村 真生子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて10:00-12:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA233	租税法研究I	通年	土	大野 雅人, 本田 光宏	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA245	民事法研究I	通年	日	岡本 裕樹, 小林 和子	西暦偶数年度開講。 開講時間は13:30-17:00予定。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA507	労働判例研究I	通年	土	川田 琢之, 渡邊 絹子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間

企業法学専攻・企業科学専攻企業法コース(平成30年度)時間割

	月	火	水	木	金	土			
2時限 (10:20~ 11:35)	春C						D1LA404 特許法II 潮海 久雄 117	2時限 (10:20~ 11:35)	
	開講日		休業日						
3時限 (11:45~ 13:00)	曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	3時限 (11:45~ 13:00)
4時限 (13:45~ 15:00)	6 月	3	4	5	6	7	8	9	4時限 (13:45~ 15:00)
		10	11	12	13	14	15	16	
		17	18	19	20	21	22	23	
		24	25	26	27	28	29	30	
5時限 (15:10~ 16:25)	7 月	1	2	3	4	5	6	7	5時限 (15:10~ 16:25)
		8	9	10	11	12	13	14	
		15	16	17	18	19	20	21	
		22	23	24	25	26	27	28	
6時限 (16:35~ 17:50)		29	30	31					6時限 (16:35~ 17:50)
	月	火	水	木	金				
7時限 (18:20~ 19:35)		01LA512 労働関係法 川田 琢之 119 01LA510 独占禁止法II 山田 壽 117 01LA408 商標法 潮海 久雄 320 02FA609 国際取引と国際私法 藤澤 尚江 435	01LA221 実務租税法 本田 光宏 119 01LA206 担保法II 岡本 裕樹 117	01LA308 国際民事訴訟法 藤澤 尚江 117 01LA152 民事手続法演習II 大淵 真喜子 436	01LA217 金融商品取引法 木村 真生子 117		02FA707 現代契約法 小林 和子 558	7時限 (18:20~ 19:35)	
8時限 (19:45~ 21:00)		01LA512 労働関係法 川田 琢之 119 01LA510 独占禁止法II 山田 壽 117 02FA609 国際取引と国際私法 藤澤 尚江 435	01LA206 担保法II 岡本 裕樹 117 01LA135 租税法演習 大野 雅人 320	01LA308 国際民事訴訟法 藤澤 尚江 117 01LA152 民事手続法演習II 大淵 真喜子 436	01LA217 金融商品取引法 木村 真生子 117		02FA707 現代契約法 小林 和子 558	8時限 (19:45~ 21:00)	

集中

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
01LA003	英米法I	夏季休業中	集中	高橋 脩一	世話人・渡邊 絹子 非常勤講師	後日揭示
01LA009	法と経済学	夏季休業中	集中	飯田 高	世話人・木村真生子 非常勤講師	春Aの申請期間
01LA150	会社法特殊講義I	夏季 (予定)		赤永 真生	本年度のみ開講。	春Aの申請期間
01LA158	行政法	夏季休業中	集中	南川 和重	世話人・大野雅人 非常勤講師	後日揭示
02FA619	租税法特論	夏季休業中	7,8限	小林 幹雄	8/1,8/2,8/3,8/7,8/8 世話人・大野雅人 非常勤講師	後日揭示

応談

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
01LA139	知的財産法判例演習	春学期	応談	平嶋 竜太		春Aの申請期間
01LA402	著作権法II	春学期	応談	平嶋 竜太	西暦偶数年度開講。	春Aの申請期間
01LA149	アメリカ取引法文献講読	通年	応談	木村 真生子	履修登録前に参加者に対して面談を行う。	春Aの申請期間
02FA912	比較労働法の基礎II	通年	応談	川田 琢之	西暦偶数年度開講。 「比較労働法の基礎」と同様のねらいを持った科目であり、両科目を隔年で開講する。講義文献は両科目で異なるものとし、どちらを先に受講してもよい。	春Aの申請期間
01LA227	商法研究I	通年	日	赤永 真生, 木村 真生子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて10:00-12:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA233	租税法研究I	通年	土	大野 雅人, 本田 光宏	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA245	民法研究I	通年	日	岡本 裕樹, 小林 和子	西暦偶数年度開講。 開講時間は13:30-17:00予定。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA507	労働判例研究I	通年	土	川田 琢之, 渡邊 絹子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間

企業法学専攻・企業科学専攻企業法コース(平成30年度)時間割

	月	火	水	木	金	土			
2時限 (10:20~ 11:35)	秋A						01LA310 国際税法II 本田 光宏 119	2時限 (10:20~ 11:35)	
						開講日	休業日		
3時限 (11:45~ 13:00)	曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	3時限 (11:45~ 13:00)
4時限 (13:45~ 15:00)	9月							1	
		2	3	4	5	6	7	8	
		9	10	11	12	13	14	15	
		16	17	18	19	20	21	22	
		23	24	25	26	27	28	29	
5時限 (15:10~ 16:25)	10月		1	2	3	4	5	6	
		7	8	9	10	11	12	13	
		14	15	16	17	18	19	20	
		21	22	23	24	25	26	27	
6時限 (16:35~ 17:50)	11月					1	2	3	
		4	5	6	7	8	9	10	
		11	12	13	14	15	16	17	
		18	19	20	21	22	23	24	
7時限 (18:20~ 19:35)	月								
		01LA204 不動産法 岡本 裕樹 119	01LA221 実務租税法 本田 光宏 119	01LA215 企業会計法 赤永 真生 119	01LA210 会社法 木村 真生子 119	02FA929 国際租税計画IV 本田 光宏 438	7時限 (18:20~ 19:35)		
		01LA214 中小会社法 赤永 真生 320	01LA514 企業の組織・活動と労働法 川田 塚之 117	01LA513 社会保険法 渡邊 梢子 117	01LA224 上級民事訴訟法 大淵 真喜子 117				
			01LA303 国際経済法 大塚 孝男 320						
8時限 (19:45~ 21:00)	月								
		01LA204 不動産法 岡本 裕樹 119	01LA239 租税計画II 大野 雅人 119	01LA215 企業会計法 赤永 真生 119	01LA210 会社法 木村 真生子 119		8時限 (19:45~ 21:00)		
		01LA214 中小会社法 赤永 真生 320	01LA142 労働法演習II 川田 塚之 117	01LA513 社会保険法 渡邊 梢子 117	01LA224 上級民事訴訟法 大淵 真喜子 117				
			01LA303 国際経済法 大塚 孝男 320						

応談

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
01LA149	アメリカ取引法文献講読	通年	応談	木村 真生子	履修登録前に参加者に対して面談を行う。	春Aの申請期間
01LA407	デザイン法	秋学期	応談	平嶋 竜太		秋Aの申請期間
02FA903	知的財産法による情報財産保護	秋学期	応談	平嶋 竜太	西暦偶数年度開講。	秋Aの申請期間
02FA911	現代社会保険法	秋学期	土,3,4	渡邊 梢子	10/27,11/17,12/15,1/12,2/16 12/15は431,1/12は320講義室。	秋Aの申請期間
02FA912	比較労働法の基礎II	通年	応談	川田 塚之	西暦偶数年度開講。 「比較労働法の基礎」と同様のねらいを持った科目であり、両科目を隔年で開講する。講義文献は両科目で異なるものとし、どちらを先に受講してもよい。	春Aの申請期間
01LA227	商事法研究I	通年	日	赤永 真生,木村 真生子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて10:00-12:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA233	租税法研究I	通年	土	大野 雅人,本田 光宏	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA245	民事法研究I	通年	日	岡本 裕樹,小林 和子	西暦偶数年度開講。 開講時間は13:30-17:00予定。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA507	労働判例研究I	通年	土	川田 塚之,渡邊 梢子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間

企業法学専攻・企業科学専攻企業法コース(平成30年度)時間割

	月	火	水	木	金	土			
2時限 (10:20~ 11:35)	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">秋B</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 開講日 休業日 </div>					01LA310 国際税法II 本田 光宏 119	2時限 (10:20~ 11:35)		
3時限 (11:45~ 13:00)						01LA410 知的財産法 瀬海 久雄 320	01LA143 知的財産法演習 瀬海 久雄 436	3時限 (11:45~ 13:00)	
4時限 (13:45~ 15:00)	11月	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29	9 16 23 30	10 17 24	4時限 (13:45~ 15:00)
5時限 (15:10~ 16:25)	12月	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29	5時限 (15:10~ 16:25)
6時限 (16:35~ 17:50)						01LA237 租税争訟法 大野 雅人 119	6時限 (16:35~ 17:50)		
7時限 (18:20~ 19:35)						02FA029 国際租税計画IV 本田 光宏 436	7時限 (18:20~ 19:35)		
8時限 (19:45~ 21:00)							8時限 (19:45~ 21:00)		

応談

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
01LA149	アメリカ取引法文献講読	通年	応談	木村 真生子	履修登録前に参加者に対して面談を行う。	春Aの申請期間
01LA407	デザイン法	秋学期	応談	平嶋 竜太		春Aの申請期間
02FA803	知的財産法による情報財保護	秋学期	応談	平嶋 竜太	西暦偶数年度開講。	後日揭示
02FA912	比較労働法の基礎II	通年	応談	川田 塚之	西暦偶数年度開講。 「比較労働法の基礎」と同様のねらいを持った科目であり、両科目を隔年で開講する。講義文献は両科目で異なるものとし、どちらを先に受講してもよい。	春Aの申請期間
01LA227	商法研究I	通年	日	弥永 真生, 木村 真生子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて10:00-12:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA233	租税法研究I	通年	土	大野 雅人, 本田 光宏	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA245	民法研究I	通年	日	岡本 裕樹, 小林 和子	西暦偶数年度開講。 開講時間は13:30-17:00予定。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA507	労働判例研究I	通年	土	川田 塚之, 渡邊 絹子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間

企業法学専攻・企業科学専攻企業法コース(平成30年度)時間割

	月	火	水	木	金	土	
2時限 (10:20~11:35)	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">秋C</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 開講日 休業日 </div>					02FA808 現代知的財産法 瀬海 久雄 554	2時限 (10:20~11:35)
3時限 (11:45~13:00)						01LA209 消費者取引と法 小林 和子 119	3時限 (11:45~13:00)
4時限 (13:45~15:00)	01LA203 消費者取引と法 小林 和子 119	4時限 (13:45~15:00)					
5時限 (15:10~16:25)	5時限 (15:10~16:25)						
6時限 (16:35~17:50)	6時限 (16:35~17:50)						
7時限 (18:20~19:35)	7時限 (18:20~19:35)						
8時限 (19:45~21:00)	8時限 (19:45~21:00)						

集中

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
01LA208	信託法	春季休業中	集中	新井 誠	世話人:木村真生子 非常勤講師	後日揭示
02FA012	企業科学共通科目II-ビジネズと法II-	春季休業中	集中	川田 琢之,大野 雅人,本田 光宏,木村 真生子,山田 啓,渡邊 絹子	開講日は後日揭示 西暦偶数年度開講。 02RB310と同一。	後日揭示

応談

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
01LA149	アメリカ取引法文献講読	通年	応談	木村 真生子	履修登録前に参加者に対して面談を行う。	春Aの申請期間
01LA407	デザイン法	秋学期	応談	平嶋 竜太		秋Aの申請期間
02FA803	知的財産法による情報財産保護	秋学期	応談	平嶋 竜太	西暦偶数年度開講。	秋Aの申請期間
02FA912	比較労働法の基礎II	通年	応談	川田 琢之	西暦偶数年度開講。 「比較労働法の基礎」と同様のねらいを持った科目であり、両科目を隔年で開講する。講義文献は両科目で異なるものとし、どちらを先に受講してもよい。	春Aの申請期間
01LA227	商法研究I	通年	日	赤永 真生,木村 真生子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて10:00-12:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA233	租税法研究I	通年	土	大野 雅人,本田 光宏	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA245	民法研究I	通年	日	岡本 裕樹,小林 和子	西暦偶数年度開講。 開講時間は13:30-17:00予定。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
01LA507	労働判例研究I	通年	土	川田 琢之,渡邊 絹子	西暦偶数年度開講。 開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間

② 履修方法・修了要件等

1. 履修方法

- (1) 共通専門科目の必修科目群にある企業法学特別研究Ⅰ～Ⅵの6科目6単位が必修。
- (2) 共通専門科目（(1)の履修科目を除く）、専門科目（コースの科目を中心に）のうちから24単位以上を履修。
- (3) 以下の科目については、**3単位**を限度として修了要件となる単位として認められる。
 - ・ 特定関連科目
 - ・ 本学の他研究科及び他専攻の授業科目（教員会議の議に基づき、教育研究上有益と認められる場合）**企業法学専攻は大学院学則の10単位限度と異なるので注意すること。**

※平成25年度以前の入学者は、企業法学特別研究Ⅰ～Ⅵに加え、法文献学1単位が必修となる。

2. 修了要件

- ・ 30単位以上修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること（中間報告を行っていることが修士論文の提出要件となる）。
- ・ 修士論文の本文の標準字数は40,000字～60,000字程度とする。

3. 平成26年度以前に修得した単位について（該当者のみ）

開設年度または単位数が異なる同一科目を履修した場合、修了要件として認められるのは、早い年度に修得した科目のみであり、後に修得した科目は、「その他」の科目区分として登録され、修了要件としては認められない。

なお、以下の科目については、名称を変更する。**変更前**の科目を既に修得している場合、**変更後**の科目を修得したとしても、修了要件となる単位としては認められない。

新旧科目対応表

変更前		変更後	
25～26年度	01LA111 企業法学特殊講義Ⅰ（1単位）	27年度～	01LA240 相続税法（1単位）
25～26年度	01LA112 企業法学特殊講義Ⅱ（1単位）	〃	01LA243 中国税法（1単位）
25～26年度	01LA114 企業法学特殊講義Ⅳ（1単位）	〃	01LA242 アメリカ税法（1単位）
25～26年度	01LA115 企業法学特殊講義Ⅴ（1単位）	〃	01LA241 消費税法（1単位）
25年度	01LA235 租税計画（3単位）	26年度～	01LA238 租税計画Ⅰ（1単位） 01LA239 租税計画Ⅱ（1単位）

履修方法・修了要件（別表）

ビジネス科学研究科 企業法学専攻

平成 26 年度以降入学者用

科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数
専門科目	共通専門科目	必修 「企業法学特別研究Ⅰ」(1単位) 必修 「企業法学特別研究Ⅱ」(1単位) 必修 「企業法学特別研究Ⅲ」(1単位) 必修 「企業法学特別研究Ⅳ」(1単位) 必修 「企業法学特別研究Ⅴ」(1単位) 必修 「企業法学特別研究Ⅵ」(1単位)	6
	専門科目【企業関係法コース】	共通専門科目（必修科目を除く）、専門科目（コースの科目を中心に）のうちから 24 単位以上を履修。	24
	専門科目【国際ビジネス法コース】		
	専門科目【知的財産法コース】		
	専門科目【社会・経済法コース】		
専門科目【税法コース】			
		修了単位数	30
<ul style="list-style-type: none"> ・ 上表に基づき 30 単位以上修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること（中間報告を行っていることが修士論文の提出要件となる）。 ・ 修士論文の本文の標準字数は 40,000 字～60,000 字程度とする。 ・ 以下の科目については、3 単位を限度として修了要件となる単位として認められる。 特定関連科目 本学の他研究科及び他専攻の授業科目（教員会議の議に基づき、教育研究上有益と認められる場合） 企業法学専攻は大学院学則の 10 単位限度と異なるので注意すること。 			

平成 25 年度以前入学者用

科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数
専門科目	共通専門科目	必修 「法文献学」(1単位) 必修 「企業法学特別研究Ⅰ」(1単位) 必修 「企業法学特別研究Ⅱ」(1単位) 必修 「企業法学特別研究Ⅲ」(1単位) 必修 「企業法学特別研究Ⅳ」(1単位) 必修 「企業法学特別研究Ⅴ」(1単位) 必修 「企業法学特別研究Ⅵ」(1単位)	7
	専門科目【企業関係法コース】	共通専門科目（必修科目を除く）、専門科目（コースの科目を中心に）のうちから 24 単位以上を履修。	23
	専門科目【国際ビジネス法コース】		
	専門科目【知的財産法コース】		
	専門科目【社会・経済法コース】		
専門科目【税法コース】			
		修了単位数	30
<ul style="list-style-type: none"> ・ 上表に基づき 30 単位以上修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること（中間報告を行っていることが修士論文の提出要件となる）。 ・ 修士論文の本文の標準字数は 40,000 字～60,000 字程度とする。 ・ 以下の科目については、3 単位を限度として修了要件となる単位として認められる。 特定関連科目 本学の他研究科及び他専攻の授業科目（教員会議の議に基づき、教育研究上有益と認められる場合） 企業法学専攻は大学院学則の 10 単位限度と異なるので注意すること。 			